

福島原発放射能物質漏れ—内部被曝を重視して対応を！

日本平和委員会理事の矢ヶ崎克馬さん（琉球大学名誉教授、「隠された被曝」の著書、原子力発電所の被曝労働者弁護団の科学的弁護を担当）のコメント。

- 最大の住民プロテクトは放射能の埃を体内に入れないこと。
- マスクをすること。屋外での食糧配布はやめて屋内での配布とすること。

本部ブログに本文掲載 (<http://zjr.sakura.ne.jp/?p=633>)

死者・行方不明者 1万6665人 18日11時現在

宮城県が集団疎開を検討

知事「避難所がかなり劣悪な状態」

宮城県は、避難所の物資不足などが改善されないため、内陸部など被災地外へ避難者を一時的に集団避難させることを検討する方針を明らかにした。さらに宮城県知事は震災から1週間経過し、「避難所はかなり劣悪な状況になっている」として、避難所で生活する被災者について他県への一時集団疎開を検討することを明らかにした。

橋下大阪府知事「仮設無意味、被災者を安全な地域に移せ」橋下知事は14日、「役所なども機能していない状態で人、物を送り続けるより、受け入れる方向に持っていかなくてはならない」と説明。

【避難状況】(18日午前11時 警察庁)			
【青森県】	12	367	
【岩手県】	349	48,439	
【宮城県】	1,081	183,184	
【福島県】	446	131,665	
【茨城県】	165	6,307	
	24	1,260	
	福島県からの専用避難所		
【栃木県】	30	1,028	
【新潟県】	31	7,650	
	福島県からの避難者		
【山形県】	38	2,712	
	福島、宮城県からの避難者		
	2,176	382,612	
	箇所	人	

余震も最多、M5.0超247回…被災者ストレス計り知れず

気象庁は20日までにマグニチュード(M)7.0、震度5強以上の余震が発生する確率を40%と予測しており、「1~2カ月は震度4~5強の余震が続く可能性がある」としている。M9.0を記録した東日本大震災のM5.0以上の余震は、発生から6日が経過した17日正午までで過去最多の247回発生した。このうち、M6.0以上の余震も53回とこれまでの地震を上回っている。

震度6の茨城県筑西市でも 市民病院 建物使用不可能に

かかりつけの患者のみ駐車場内仮設テントで診療。桜川市の県西総合病院は断水のため、かかりつけ患者の薬のみ処方。協和中央病院に入院患者のオムツ・寝具類は家族が市販を購入して手当てする。いま売り切れているものはあらゆる種類の自転車。超ガソリン不足が招く笑えない話。